

受診は簡単！2ステップ！

ステップ1 受診する医療機関を選ぶ

希望の条件(特定健診との同時受診の可否、がん検診の種類、最寄り駅、土日・夜間の受診可否等)でウェブサイトから医療機関の検索ができます。受診の際にぜひご利用ください。

※医療機関によっては予約が必要な場合があります。ウェブサイト等をご確認ください。

横浜市がん検診サイト 検索



サイト画面イメージ

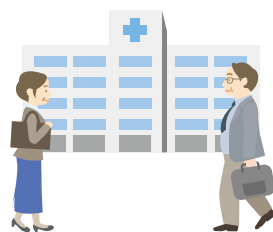
ステップ2 医療機関で受診する

〈持ち物〉

●本人確認書類(氏名・年齢(生年月日)が確認できるもの)

対象者のみ

- HPV検査受診券バーコードシール
(子宮頸がん検診のHPV検査を受診する方のみ)
- マイナ保険証等(胃がん内視鏡検査を希望される方のみ)
- 減免確認書(区役所発行)等の確認書類
(無料で受診可能な対象者のみ)



お問合せ先

がん検診・検査、実施医療機関などについてはこちらへ

横浜市けんしん
専用ダイヤル



TEL:045-664-2606
FAX:045-664-3851

【受付時間】8時30分～17時15分
(日曜・祝日・年末年始を除く)

横浜市がん検診
ウェブサイト



横浜市がん検診 検索

▲こちらへ
アクセス



横浜市がん検診のご案内

がんは生涯のうち、2人に1人がかかると言われています。
がんは早期に発見し、適切な治療をすれば治癒が期待できる病気です。
ぜひ、定期的にごがん検診を受けましょう。

横浜市がん検診の内容

65歳以上の方

昭和37(1962)年4月1日以前に生まれた方

は無料で受診できます!

| 参照ページ | 検診種類 | 受診回数 | 対象者※1 | 費用 | 検査項目 | 受診できる医療機関 |
|-------|-------------------|----------|------------------|----------|----------------|--|
| 4ページ | 大腸がん | 1年度に1回 | 40歳以上 | 無料※2 | 問診、便潜血検査 | 市のがん検診を受けられる医療機関は「横浜市がん検診サイト」で調べられます。  |
| 5ページ | 胃がん(内視鏡) | 2年度に1回※3 | 50歳以上 | 2,500円※4 | 問診、胃内視鏡検査 | |
| | 胃がん(エックス線) | | | | 問診、胃部エックス線検査 | |
| 6ページ | 肺がん | 1年度に1回 | 40歳以上 | 680円 | 問診、胸部エックス線検査 | |
| 7ページ | 子宮頸がん(細胞診検査) | 2年度に1回 | 20~29歳、61歳以上(女性) | 1,360円 | 問診、頸部細胞診検査 | |
| | 子宮頸がん(HPV検査単独法)※5 | 5年に1回※6 | 30~60歳(女性) | 2,000円 | 問診、HPV検査単独法 | |
| 9ページ | 乳がん | 2年度に1回 | 40歳以上(女性) | 680円 | 問診、マンモグラフィ | |
| 11ページ | 前立腺がん | 1年度に1回 | 50歳以上(男性) | 1,000円 | 問診、血液検査(PSA検査) | |

がんのリスクを下げるために

がんを完全に防ぐことは難しいですが、たばこを吸わない、お酒を控える、食生活を整える、体をよく動かす、適正体重を保つといった生活習慣に気をつけることで、リスクを下げるすることができます。毎日の暮らしの中で、できることから取り入れていきましょう。

がん情報サービス がん予防 検索



※1 令和9年4月1日までに対象年齢に達する方は、受診が可能です。

ただし、子宮頸がん検診(HPV検査単独法)は受診日時点の年齢になります。

※2 令和8年度は、600円を無料としています。

※3 胃がん検診は同一年度に内視鏡検査とエックス線検査の両方を受診することはできません。また、連続する年度に内視鏡検査とエックス線検査を交互に受けることはできませんのでご注意ください。

※4 胃がん検診で内視鏡検査を希望される方は、受診当日にマイナ保険証等を必ずお持ちください。内視鏡検査は検診の途中で確定診断のための病理検査を目的に粘膜片を採取する生検を行う可能性があります。この生検は保険診療となりますので、別途費用がかかります。

※5 受診する際は、必ず横浜市からお送りしている受診券が必要となります。

妊娠初期に妊婦健診券綴りを使用する場合は、年齢に関わらず細胞診検査になります。

※6 HPV検査が陰性である場合の受診間隔です。ただし、2回目の受診は30歳から5歳刻みの節目年齢(35、40、45、50、55、60歳)となります。なお、導入当初は次回受診を節目年齢で受けていただくため、間隔が5年に満たない場合があります。受診時期には横浜市からご案内をお送りします。また、HPV検査が陽性である場合の受診間隔は、横浜市がん検診サイトをご確認ください。

検診の結果、精密検査が必要となった場合や病気が発見された場合などは、医師の指示に従って受診をしてください。検査料、治療費は保険診療となり別途料金が必要となります。*

※65歳以上の方が、横浜市がん検診を受診して、精密検査が必要となった場合、精密検査の費用助成制度があります。詳しくは横浜市ウェブページをご確認ください。

★横浜市では、受診された方の検診結果などの情報を把握・分析し、がん対策の推進に役立てています。

検診を受けた後に費用の免除はできませんのでご注意ください。

1 令和9年4月1日時点で65歳以上の人(昭和37年(1962年)4月1日以前にお生まれの方) 年齢確認できるもの(マイナ保険証など)を検診時にご提示ください

2 生活保護世帯の人 「休日・夜間等診療依頼証」を検診時にご提示ください。

3 中国残留邦人等支援給付制度が適用される人 「本人確認証」を検診時にご提示ください。

4 令和7年度市民税県民税が非課税世帯・均等割のみ課税世帯の人 (世帯員全員の令和6年中の収入に基づきます) 検診前に手続きが必要です。お住まいの区の区役所健康づくり係にお問い合わせください。

※令和8年度は、大腸がん検診は自己負担額無料のため、減免確認書の申請は必要ありません。

各区役所福祉保健課健康づくり係 お問い合わせ先(市外局番は「045」です)

| | | | |
|---------------|----------|----------------|----------|
| 青葉区役所 健康づくり係 | 978-2438 | 瀬谷区役所 健康づくり係 | 367-5744 |
| 旭区役所 健康づくり係 | 954-6146 | 都筑区役所 健康づくり係 | 948-2350 |
| 泉区役所 健康づくり係 | 800-2445 | 鶴見区役所 健康づくり係 | 510-1832 |
| 磯子区役所 健康づくり係 | 750-2445 | 戸塚区役所 健康づくり係 | 866-8426 |
| 神奈川区役所 健康づくり係 | 411-7138 | 中区役所 健康づくり係 | 224-8332 |
| 金沢区役所 健康づくり係 | 788-7840 | 西区役所 健康づくり係 | 320-8439 |
| 港南区役所 健康づくり係 | 847-8438 | 保土ヶ谷区役所 健康づくり係 | 334-6344 |
| 港北区役所 健康づくり係 | 540-2362 | 緑区役所 健康づくり係 | 930-2357 |
| 栄区役所 健康づくり係 | 894-6964 | 南区役所 健康づくり係 | 341-1185 |

がんは横浜市民の死亡原因の第1位です

がんを早期発見するためには、自覚症状がないうちから、がん検診を定期的に受けることが大切です。

がん検診のメリット・デメリット

がん検診には、早期のがんを見つけて早めに治療を行うことで、救命の効果があるという最大のメリットのほかにも、早期発見により治療の身体的負担、経済的負担が少なくすむメリットなどがあります。

異常なしという判定が100%正しいというわけではないこと、逆に検診で精密検査が必要となり、精密検査を受けた結果「がんではない」と判定される「偽陽性」、その後進行がんにならなかつたりして、生命に影響を及ぼさないがんまで発見してしまう「過剰診断」、検査による出血や放射線の被ばくなどの偶発症など、デメリットもあります。このメリットとデメリットをよく知ったうえで検診を受けてください。

がん検診のメリット・デメリットに関すること

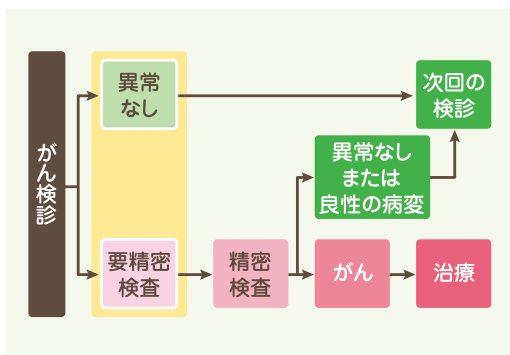
- ▶ 公益財団法人 日本対がん協会 https://www.jcancer.jp/about_cancer_and_checkup
- ▶ 国立がん研究センターがん情報サービス https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/about/scr.html



がん検診の流れ

がん検診は、一見健康な人に対して、「がんがありそう(要精密検査)」、「がんがなさそう(異常なし)」ということを判定し、「ありそう」と判定された人は精密検査を受けるよう指導されます。

精密検査で「がん」が発見された場合には、治療を行います。精密検査や治療を受けない場合には、せっかくの早期発見・早期治療の機会を逃してしまいますので、ぜひ受診をしてください。



検診の結果、精密検査が必要となった場合や病気が発見された場合などの検査料、治療費は保険診療となり別途料金が必要となります。*

※65歳以上の方が、横浜市がん検診を受診して、精密検査が必要となった場合、**精密検査の費用助成制度**があります。詳しくは横浜市ウェブページをご覧ください。

大腸がん

令和8年度は
大腸がん検診が無料で
受診できます



男女ともに、
40歳以上は年に1回、
大腸がん検診を受けましょう。

大腸がんにかかる率は、30歳代後半から増えはじめ、年齢が上がるほど高くなります。大腸がんは、年間で約15万人が罹患する最も多いがんです。生涯で男性は10人に1人、女性は12人に1人が罹患するとされています。

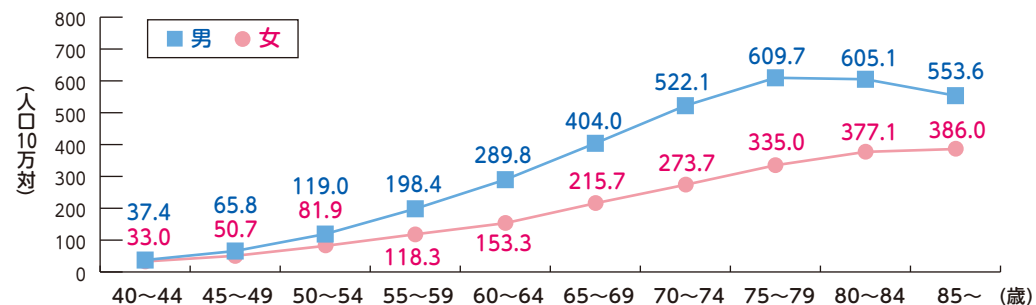
早期の大腸がんは、一般的には自覚症状はありませんので、無症状の時期に定期的に検診を受けることが早期発見のために重要です。

横浜市の大腸がん検診方法 問診、検査(便潜血検査2日法)

大腸にがんやポリープなどがあると、出血がみられることがあります。検便により、大腸内の出血の有無を調べます。精度を上げるため、2日分の便を検査します。(原則2日連続採取した検体を検査します)

陽性(要精密検査)と判定された人は、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

大腸がん罹患率(2021年・全国)



出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

※上皮内がんを含む

※このグラフは1年間の罹患数をその期間の人口で割った罹患率で、「人口10万人のうち何例罹患したか」を表しています。

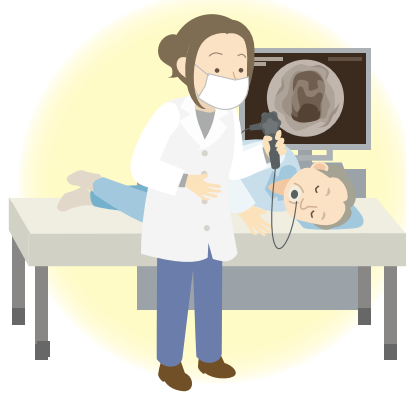
こんな症状があったら、検診ではなく、すみやかに医療機関で「診察」を受けてください!

- 血便
- 腹痛
- 貧血
- 便が細くなる
- 下痢と便秘の繰り返し
- 体重減少 など
- 残便感



胃がん

男女ともに、
50歳以上は2年に1回
胃がん検診を受けましょう。



胃がんは40歳代から増えはじめ、年齢が上がるほど高くなります。男性のほうが、女性よりかかる率や死亡率が高くなっています。

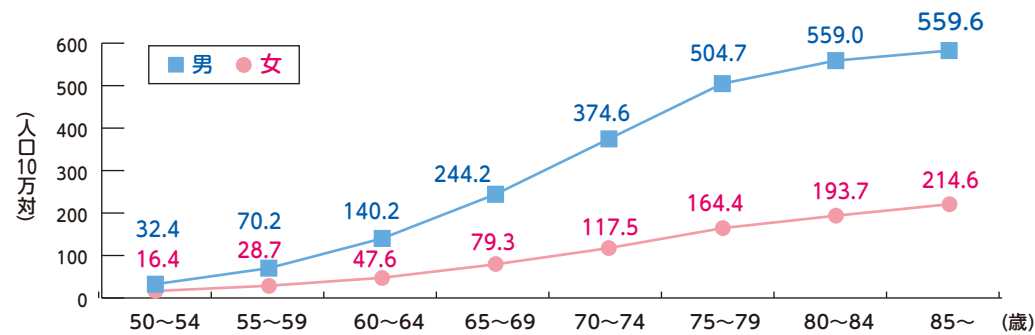
胃がんは、早い段階で自覚症状が出ることは少なく、かなり進行しても無症状の場合があります。早期の胃がんは、多くの方が検診によって発見されています。定期的に検診を受けることが、早期発見のために重要です。

横浜市の胃がん検診方法▶▶▶ 問診、胃内視鏡検査または胃部エックス線検査

「胃内視鏡検査」は内視鏡を口または鼻から挿入し、胃を観察する検査です。

「胃部エックス線検査」は、バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃をエックス線撮影する検査です。

胃がん罹患率(2021年・全国)



出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

※このグラフは1年間の罹患数とその期間の人口で割った罹患率で、「人口10万人のうち何例罹患したか」を表しています。

こんな症状があったら、検診ではなく、すみやかに医療機関で「診察」を受けてください!

- 痛み
- 胃部不快感
- 胸焼け
- 吐き気
- 食欲不振



肺がん

男女ともに、
40歳以上は年に1回、
肺がん検診を受けましょう。



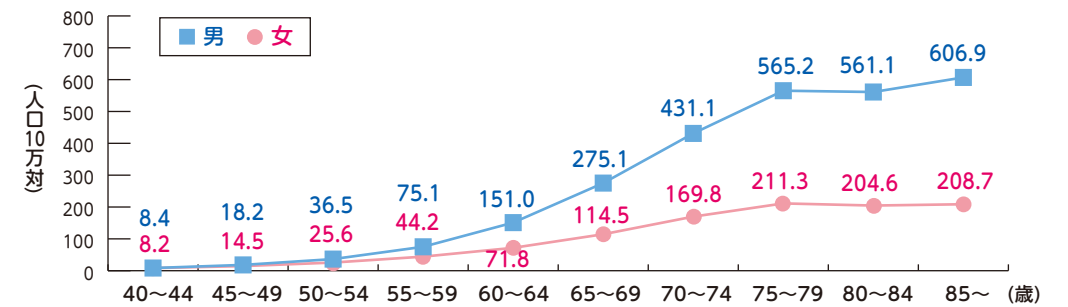
肺がんにかかる率と死亡率は、40歳代後半から増え始め年齢が上がるほど高くなります。肺がんは、2番目に多いがんで、男性では生涯で10人に1人がり患すると言われています。定期的に検診を受けて早期発見を心がけることが大切です。

タバコは肺がんの原因として大きなものです。喫煙している本人だけでなく、周りの人にも肺がんなどの健康被害を引き起こすことが分かっています。受動喫煙も肺がんのリスクを高めるため、禁煙を心がけましょう。

横浜市の肺がん検診方法▶▶▶ 問診、胸部エックス線検査

「胸部エックス線検査」は、肺全体を2方向からエックス線撮影し、肺がんの疑いの有無を確認する検査です。

肺がん罹患率(2021年・全国)



出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

※上皮内がんを含む

※このグラフは1年間の罹患数とその期間の人口で割った罹患率で、「人口10万人のうち何例罹患したか」を表しています。

こんな症状があったら、検診ではなく、すみやかに医療機関で「診察」を受けてください!

- なかなか治りにくい咳や胸痛
- 呼吸時のゼーゼー音
- 血痰
- 息切れ
- 声のかれ
- 顔や首のむくみ など



子宮頸がん



20歳以上の女性は、
定期的に子宮頸がん検診を
受けましょう。

子宮頸がんは、子宮の入口(頸部)に発生するがんです。
子宮頸がんは、20歳代前半から増えはじめ、30歳代から
40歳代が最もかかりやすい年代です。

20歳を過ぎたら、定期的に検診を受けることが、早期発見のために重要です。

横浜市の 子宮頸がん検診方法

20～29歳、61歳以上の方：問診、細胞診検査
30～60歳の方：問診、HPV検査単独法

妊娠初期に妊婦健診券綴りを使用する場合は、年齢に関わらず、細胞診検査となります。

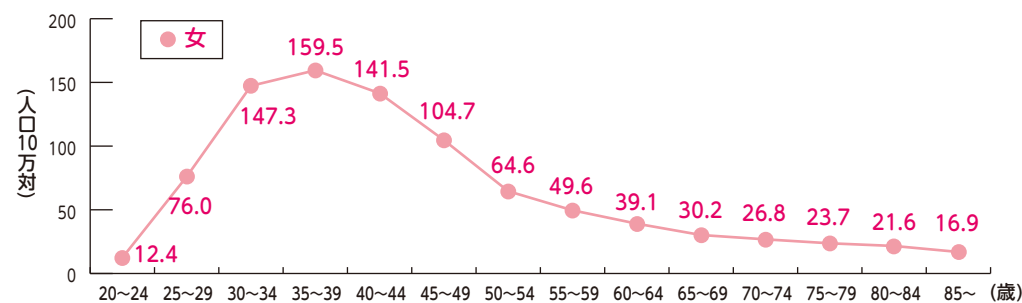
20～29歳、61歳以上の方

細胞診検査

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシのついた専用の器具でこすって細胞を取り、
異常な細胞がないか顕微鏡で調べる検査です。

2年に1回定期的に受けましょう。

子宮頸がん罹患率(2021年・全国)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」〈全国がん登録〉

※上皮内がんを含む

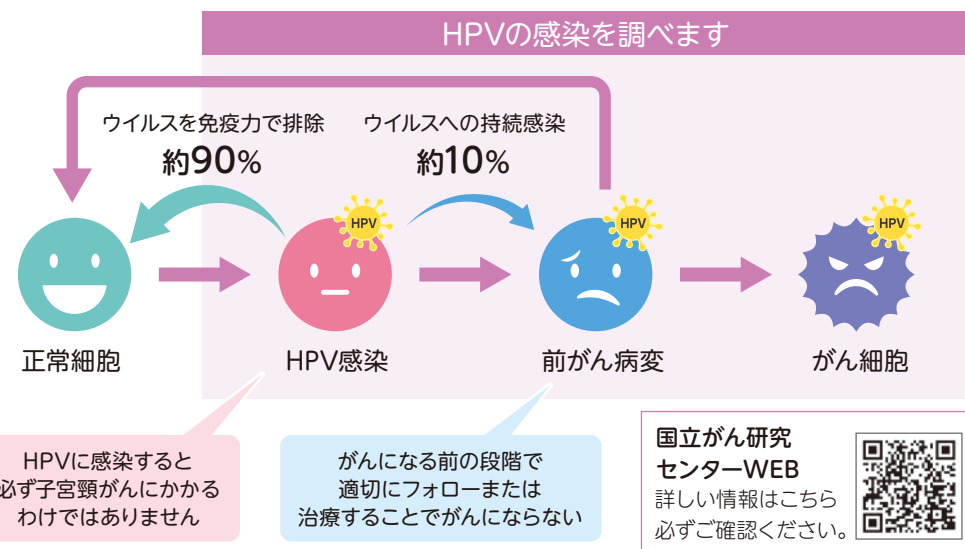
※このグラフは1年間の罹患数をその期間の人口で割った罹患率で、「人口10万人のうち何例り患したか」を表しています。

30～60歳の方

HPV検査単独法

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシのついた専用の器具でこすって細胞を取り、
子宮頸がんの原因ウイルスHPV(ヒトパピローマウイルス)に感染しているかを調べます。

HPV感染と子宮頸がんの発生の流れ



HPV検査が陰性(-)の場合は原則「5年に1度」の検診です

★HPV陰性(-)……… 次の検診は節目年齢(35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳)です。

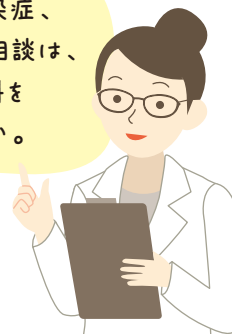
★HPV陽性(+)……… 細胞の状態を調べる検査を行います。

(この検査のための再度の受診は不要)

検査結果に応じて、1年後の再検査または精密検査を受けます。

※HPV検査を受診する際は、必ず横浜市からお送りしている受診券バーコードシールが必要となります。

生理不順、性感染症、
避妊、妊娠などの相談は、
お近くの婦人科を
ご受診ください。



女性の健康推進室 ヘルスケアラボ

このサイトでは、女性の健康に関するセルフ
チェックができます。自身の健康
状態を把握し、必要に応じて
医療機関に相談しましょう。



※厚生労働省科学研究費補助金を受けた
研究班で運営しているサイトです。

乳がん

40歳以上の女性は、
2年に1回、
乳がん検診を受けましょう。



女性の乳がんにかかる率は年々増加しています。日本人女性の9人に1人は乳がんにかかるといわれており、30歳代から増え始め、40歳以上の女性が最も多くり患するがんです。

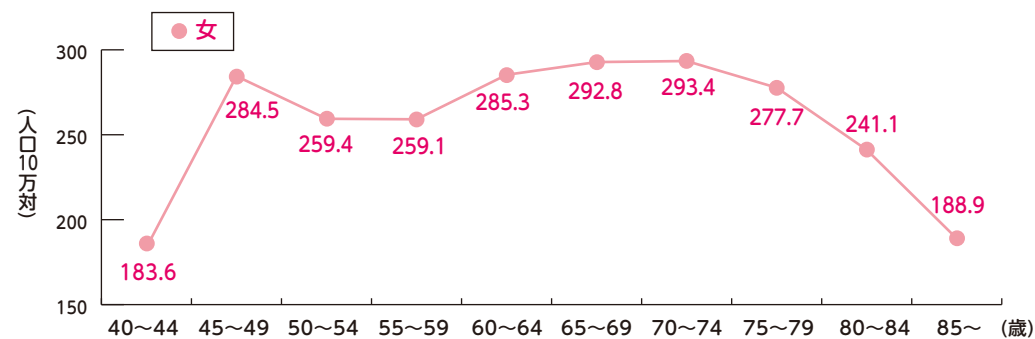
自覚症状がある場合は乳腺外来のある医療機関を受診しましょう。

横浜市の乳がん検診方法▶▶ 問診、マンモグラフィ

マンモグラフィは、乳房エックス線撮影のことです。この検査では、小さいしこりや石灰化を見つけることができます。

マンモグラフィでは見つけにくい乳がんもあります。気になる症状がある場合は、次の受診間隔を待たず、すぐに医療機関を受診してください。

乳がんり患率(2021年・全国)



出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」〈全国がん登録〉

※上皮内がんを含む
※このグラフは1年間のり患数をその期間の人口で割ったり患率で、「人口10万人のうち何例り患したか」を表しています。

ブレスト・アウェアネスをご存じですか？

ブレスト・アウェアネスは、「乳房を意識する生活習慣」です。自分の乳房の状態に日ごろから関心を持ちましょう。乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談するという、正しい受診行動を身に付けることが大切です。

40歳になる前からおすすめ / 乳房のチェック

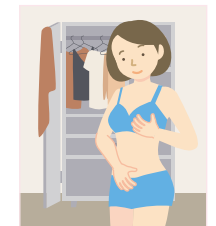
Step 1 自分の乳房の状態を知る

しこりを探す必要はありません。お風呂に入る前、着替えの時など、普段の生活の中で見たり触ったりする習慣をつけましょう。

入浴前

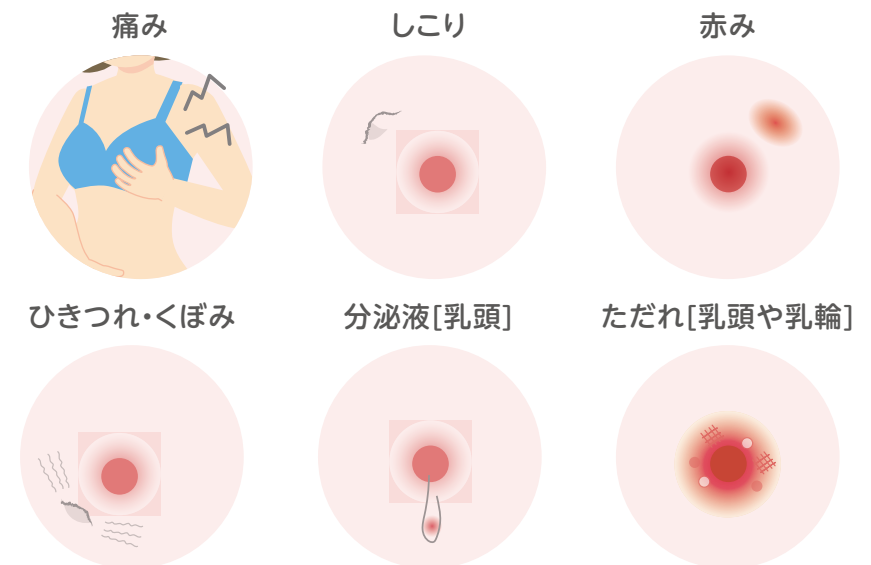


着替えの時



Step 2 乳房の変化に気をつける

すぐに気が付くことができるよう覚えておきましょう。こんな変化があったら注意！



Step 3 変化に気づいたらすぐに医師に相談

上記のような変化に気がついたら、次の検診を待たずに、すぐに乳腺外科などの乳腺を専門とする医療機関を受診しましょう。受診の流れについて、詳しくはウェブサイト「よこはま乳がん」をご覧ください。



前立腺がん



50歳を過ぎたら、
PSA検査(前立腺がん検診)を
受けられます。

前立腺は男性だけにあり(精液の一部を作る臓器)、膀胱の下で直腸の前にあります。前立腺がんにかかる率は、50歳代から増え始めます。

他のがんと同じように、早期の前立腺がん特有の症状はありません。

横浜市のPSA検査(前立腺がん検診)

問診、採血

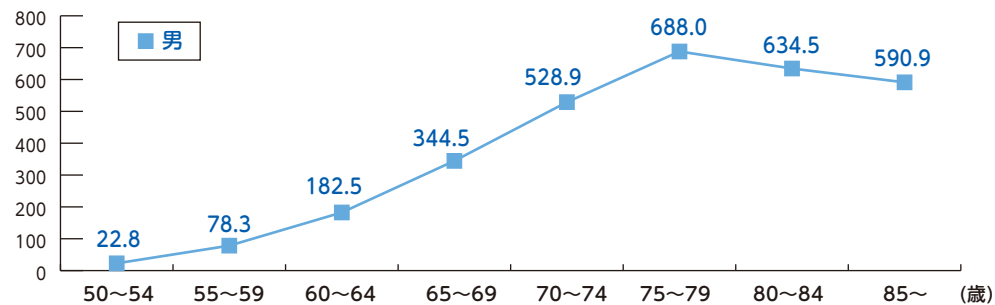
採血により前立腺特異抗原(PSA)とよばれる物質を測定する検査です。

PSAとは…

PSAは前立腺がんになると血液中に増加するため、PSA値が高いほど前立腺がんが疑われます。

ただし、PSA値が高ければ、必ずがんであるというわけではありませんし、逆にPSA値が正常の場合でも前立腺がんが発生していないということにもなりません。あくまでも、前立腺がんを発見するきっかけとなる一つの指標です。

前立腺がん罹患率(2021年・全国)



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」〈全国がん登録〉

※このグラフは1年間の罹患数をその期間の人口で割った罹患率で、「人口10万人のうち何例り患したか」を表しています。

こんな症状があったら、検診ではなく、すみやかに医療機関で「診察」を受けてください!

- 排尿困難(尿が出にくい)
- 頻尿(尿の回数が多い)
- 夜間多尿
- 尿意切迫感(尿意を感じるとトイレにいくまで排尿をがまんできない状態)
- 下腹部不快感 など



がん相談支援センター

がん相談支援センターにご相談ください。

がん患者やご家族、あるいは地域の方々からのがんに関するご相談をお受けする窓口で、**がん診療連携拠点病院や神奈川県がん診療連携指定病院に設置されています。**



がんのことやがんの治療について、今後の療養や生活についての心配事など、がんに関わるご質問や相談に、がんについて詳しい看護師や、生活全般の相談ができるソーシャルワーカーなどが対応しています。

その病院に通っていない方でも、どなたでも無料・匿名で利用でき、主に面談や電話で相談することができます。

「がん相談支援センター」に相談できることの例

診断や治療の状況に関わらず、どんなタイミングでも相談することができます。

- 治療のこと
- 家族とのかかわり
- 希少がんのこと
- 医療者とのかかわり
- 療養生活、制度やサービス
- AYA世代(15歳~30歳代)のがんのこと
- 今の気持ち、不安や心配など
- 妊よう性、性に関すること
- 治療と仕事の両立

※相談内容の秘密は厳守いたします。

※相談をすることにより不利益が生ずることはありません。 ※相談は無料です。

がん情報サービス

国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービスのウェブサイトです。がんについて、がんとの向き合い方、診断・治療方法、緩和ケアについて、病院検索など、さまざまな情報を調べることができる「がん情報の入り口」です。

がん情報サービス 検索



がん相談支援センター

横浜市内には、「がん診療連携拠点病院」(国指定)10か所及び「神奈川県がん診療連携指定病院」(県指定)4か所が指定されています。

市内の一覧はこちらから▶



AIが答えるがん相談サービス「よこはまランタン」

「ランタン」は、スマホやパソコンから、24時間いつでも、どこでも、相談ができるAIを活用したがん相談サービスです。

医師・薬剤師・看護師などの専門家が監修した、正確で信頼できる情報に加えて、横浜市の制度や支援情報を提供しています。

よこはまランタン 検索



その他の疾患について

歯周病

歯周病検診を受けましょう。

歯周病は、歯垢の中の歯周病菌が、歯肉に炎症をおこしたり、歯を支える顎の骨などを溶かしてしまう病気です。

初期では痛み等の自覚症状がないため、重症化するまで気づかず、歯を失う一番の原因になっています。また、歯周病が全身の病気へ影響することが明らかになっています。

☑ 歯周病セルフチェックリスト

- 朝起きたときに、
□の中がネバネバする
- 歯みがきのときに、
出血する
- 硬いものが噛みにくい
- 歯肉が下がって、歯と歯の間に
すきまができてきた
- 臭が気になる
- 歯肉がときどき腫れる
- 歯がグラグラする

出典：歯周病疾患の自覚症状とセルフチェック
(厚生労働省健康づくりサポートネット)

**1つでも当てはまる場合は歯周病の可能性が
あります。早めに歯科医院を受診しましょう。**

歯周病は全身に関わる病気です！

糖尿病

糖尿病の人は、歯周病になりやすく、歯周病は糖尿病を悪化させます。

肺炎

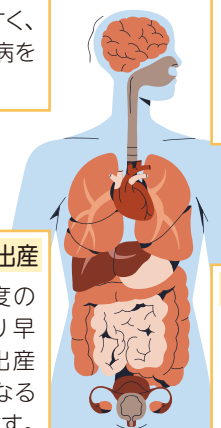
飲食物や唾液とともに歯周病菌が気管に入り込み、肺炎を起こすことがあります。

早産・低体重児出産

妊娠中は、重度の歯周病により早産・低体重児出産の頻度が高くなるといわれています。

がん治療の妨げ

がん治療の際に□内炎の重症化や術後肺炎を起こすことがあります。



歯周病は、動脈硬化、心筋梗塞、肥満などと関係があることがわかってきています。

横浜市歯周病検診方法 ▶▶▶ 全ての歯を視診※1、特定の歯の歯周ポケット※2を測定

歯科医師が全ての歯を視診(むし歯等の異常がないかを診察)し、歯肉の状態を調べるために、特定の歯の歯周ポケットを測定します。

※1 エックス線撮影は行いません ※2 歯周ポケット: 歯と歯肉の間の溝

横浜市歯周病検診のご案内

対象者 満20・30・40・50・60・70歳*の横浜市民

※受診日時点の年齢です

受診費用 500円(70歳および市・県民税非課税世帯の方などは無料)

実施場所 横浜市歯周病検診実施医療機関

★詳細はウェブをチェック! [横浜市歯周病検診](#) [検索](#)
(健康福祉局 健康推進課)

お問合せ

横浜市けんしん専用ダイヤル

TEL: 045-664-2606

FAX: 045-663-4469

8時30分～17時15分
(日・祝日・年末年始を除く)

肝炎ウイルス

早期発見・早期治療のために、一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。

国内で、B型・C型肝炎ウイルスに感染している人は、140～200万人と推定されており、実に日本人の約60～90人に1人が感染している事となります。またB型・C型肝炎ウイルスに感染していても症状がでない場合があり、治療が遅れる一因となっています。

肝炎ウイルスは、血液検査で感染しているかどうか調べることができます。今までに検査を受けたことのない人は、肝炎ウイルス検査を受けましょう。もし感染がわかっても、適切な治療を受けることで肝硬変や肝がんと言った深刻な病気に進行するのを防ぐことができます。ウイルス性肝炎は治る病気になってきていますので、必ず専門の医療機関を受診しましょう。

治療については、神奈川県が医療費の助成を行っています。ご申請にあたっては各区役所健康づくり係(2ページ)にご申請ください。

横浜市肝炎ウイルス検査のご案内

対象者 過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない横浜市民

受診費用 無料

実施場所 横浜市肝炎ウイルス検査実施医療機関

(健康福祉局 健康推進課)



お問合せ

横浜市けんしん専用ダイヤル

TEL: 045-664-2606

FAX: 045-663-4469

8時30分～17時15分
(日・祝日・年末年始を除く)

CKD(慢性腎臓病)

CKD(慢性腎臓病)は、腎臓の働きが少しずつ低下する病気です。

腎臓は、血液中の老廃物をろ過して、尿として排出する大切な臓器です。高血圧や糖尿病などの「生活習慣病」や他の病気により腎臓の働きが低下すると、人工透析が必要になるほか、脳卒中や心筋梗塞にかかるリスクが高くなります。近年は、成人の5人に1人がかかっているといわれるほど増加しています。腎臓の働きは一度大きく低下すると元に戻らず、CKDが進行するまで自覚症状が無いため、健診による早期発見が重要です。特定健診など生活習慣病チェックのための健診を受診することをおすすめします。

CKDの主な検査

①腎障害を示す異常

尿・血液・画像検査(蛋白尿など)で明らか
な異常がある。

②腎機能(eGFRが60未満)

eGFRは、血液検査(血清クレアチニン)と年齢・性別から計算できます。腎機能が低下すると、数値が下がります。

①と②のいずれか、または両方の状態が3か月以上続くとCKDと診断される。

